

リアル×3Dで体感する縄文の文化財

石棒って!?

どなたでも
ご参加いただけます

石棒 (通称: チャンピオン石棒)

出土: 堂ノ前遺跡 (岐阜県飛騨市)

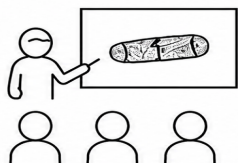
所蔵: 飛騨みやがわ考古民俗館

3Dデータ: Culpticon

縄文時代、
祈りや願いをこめてつくられた「^{せきぼう}石棒」。
なぜ人はものを作り、残すのでしょうか。
未来に残したい思い、語ってみませんか?

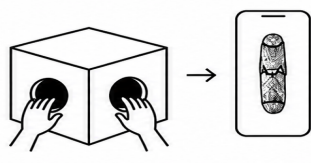
イベントの流れ

① 話題提供



石棒の背景や、縄文人の
「祈りの形」の意味を紹介します。

② 体験 (石棒神経衰弱)



石棒の形を触って感じ、3Dデータと照合!
文化財を体感するゲームです。

③ 考える・表現する



縄文人の祈りに思いを馳せながら、
未来に残したい思いを表現します。

④ 共有・対話する



参加者同士で思いを共有し、
昔、今、未来をつなぎます。

2026

9.13 (日)

13:00~14:30

会場

テレコムセンター

5階オープンスペース

(東京都江東区青海2-5-10)

登壇

井上 隼多

名古屋大学大学院 人文学研究科 助教

保谷 里歩

飛騨市教育委員会 文化振興課 学芸員

橋本 真之介

飛騨市教育委員会 石棒クラブ

丸山 恵

名古屋大学 URA (ファシリテーター)

詳細・申込み

